

水道ビジョンフォローアップ検討会

岩手県田野畑村

発表者：石原 弘

ビジョンの作成に向けて[この先を考える！]

経営基盤の強化に向けた情報収集とビジョンの方針を探る！

地方自治を
取り巻く情勢
変化

危機感

現状の水道経営ス
ケールで維持は可
能か？

地方財政健全化法

集中改革プランと水
道ビジョンは同次元
である！



ビジョン作業のプロセス

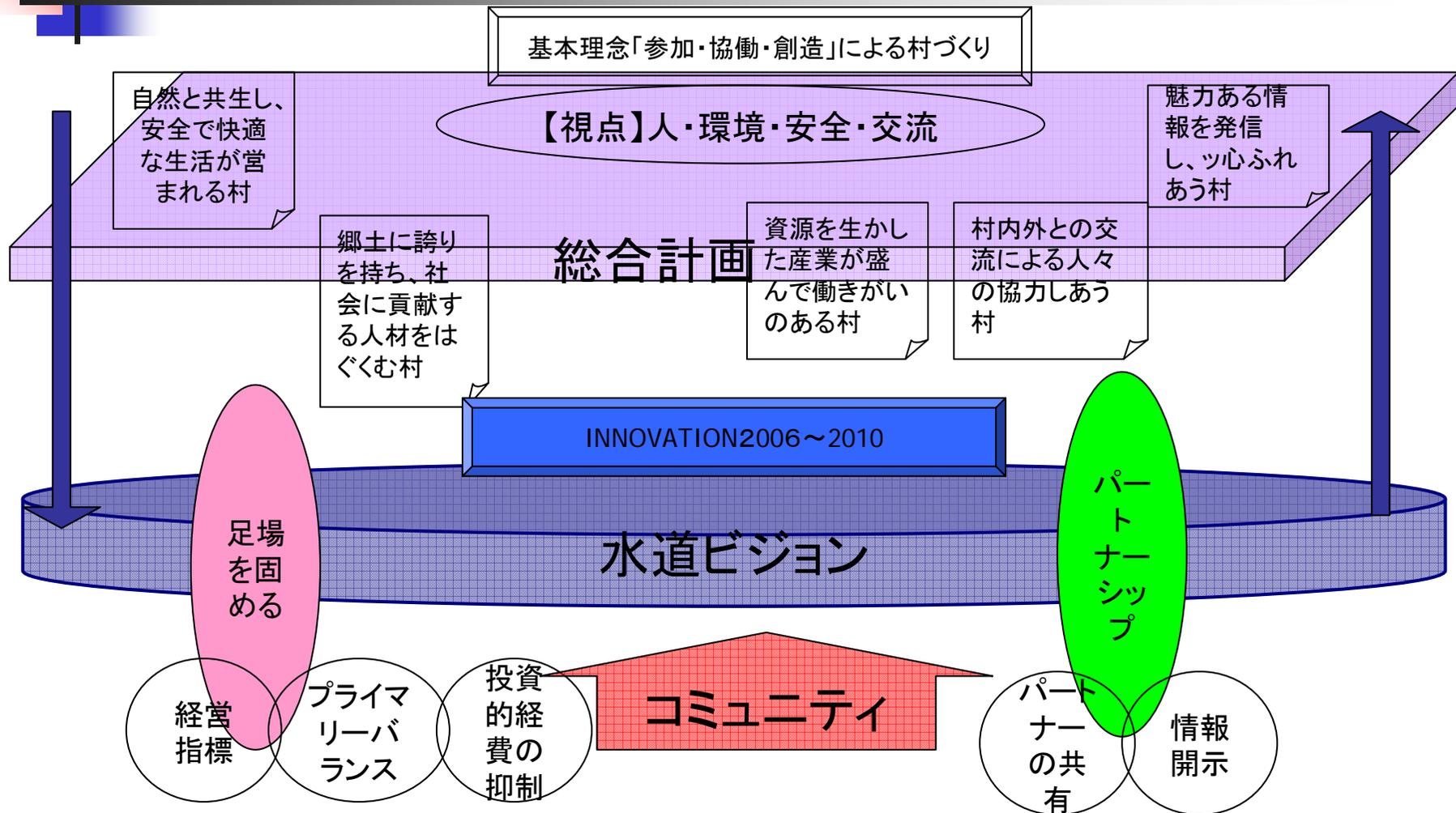
■ 事前の情報蓄積【邂逅する】

- 経営強化の可能性を多面的・重層的に考察する
- 経営者の実践を聞く

■ 基本理念を構築【民間経営者に経営理念を学ぶ】

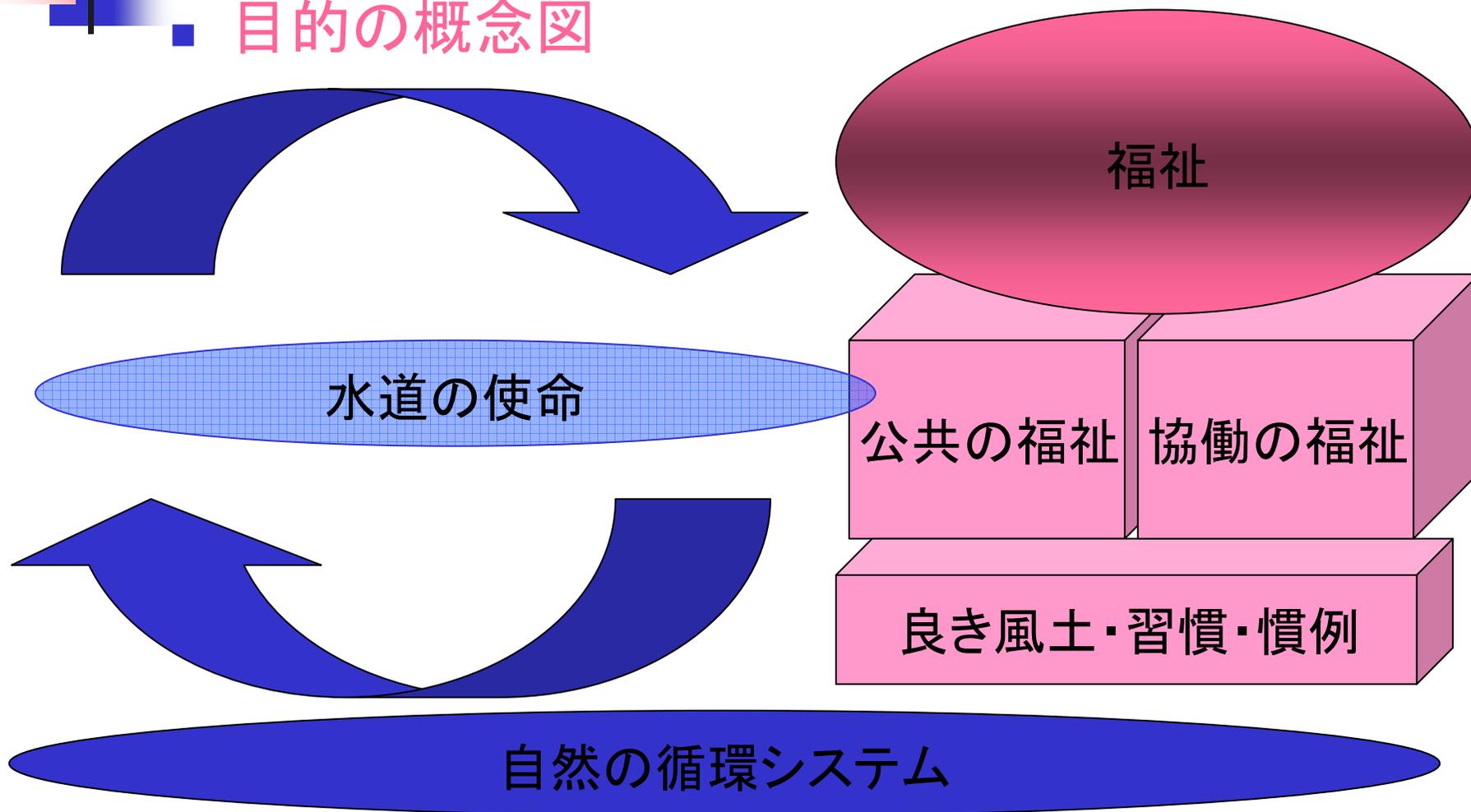
- 蓄積された情報を1ヶ月程で計画の束ね作業を行なう（自前で作成）
- 「田野畑村総合計画」の将来像と『水道ビジョン』を重ねて、計画の連動性を概念図で示す。（内部理解を深め、実効性を見出すこと）
- 文章校正等の作業（微調整）

水道ビジョンと総合計画のレイヤー

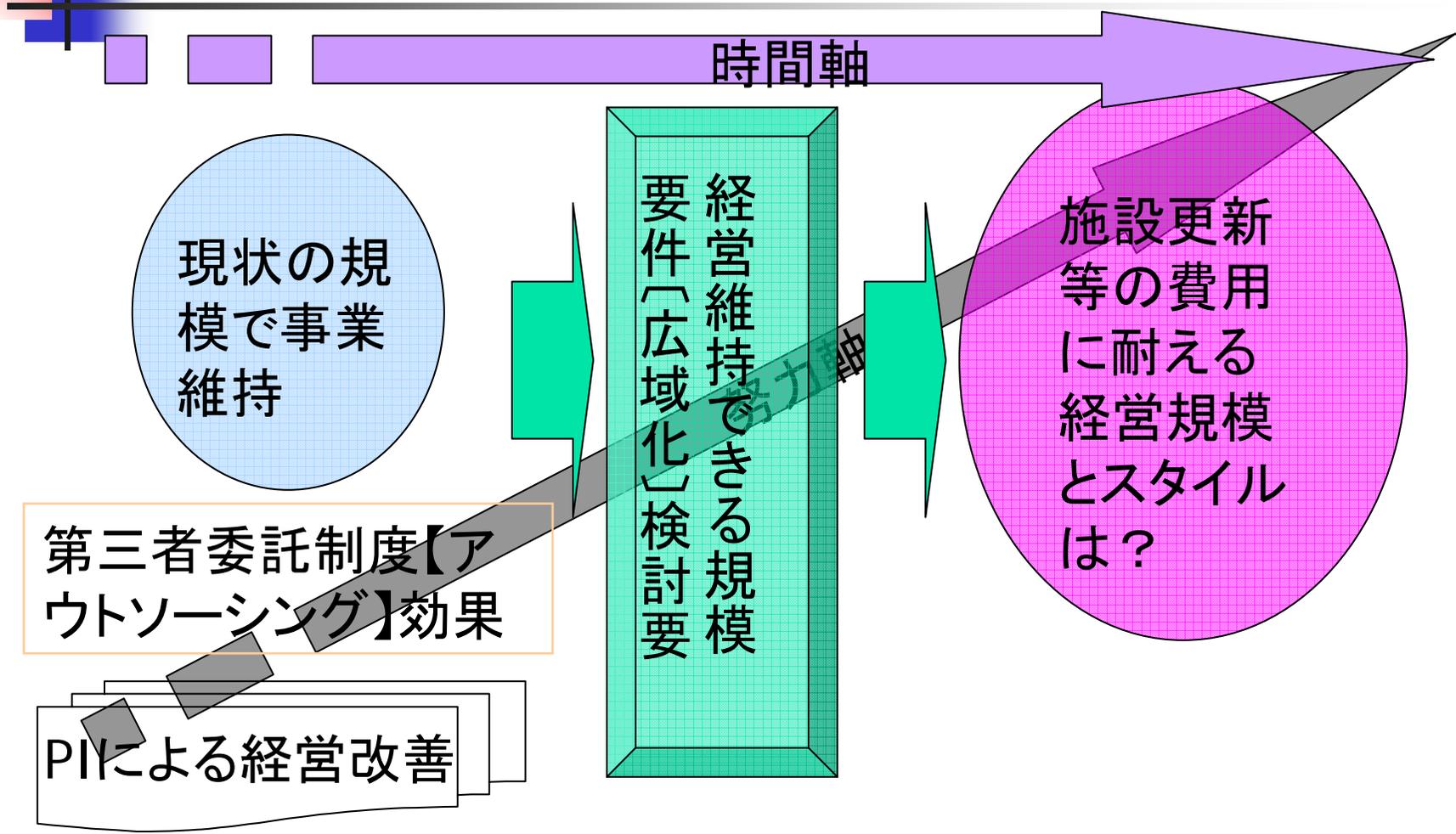


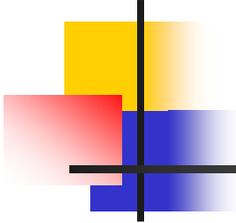
田野畑村の水道ビジョン

■ 目的の概念図



組織体制





ビジョンの目的と基本方針

水道の使命

あらたな視点に立った水道経営・協働による地域づくり

■ 目的

- 「福祉」「公共の福祉」の使命！「水は生活の源である！！」
- 人々の生活を支える水道の持つ有機性を維持する！
- 水によるネットワーク事業を如何に経営改善できるか！
- 現状分析をして次ぐにつなげる！『PIによって現状を分析する』

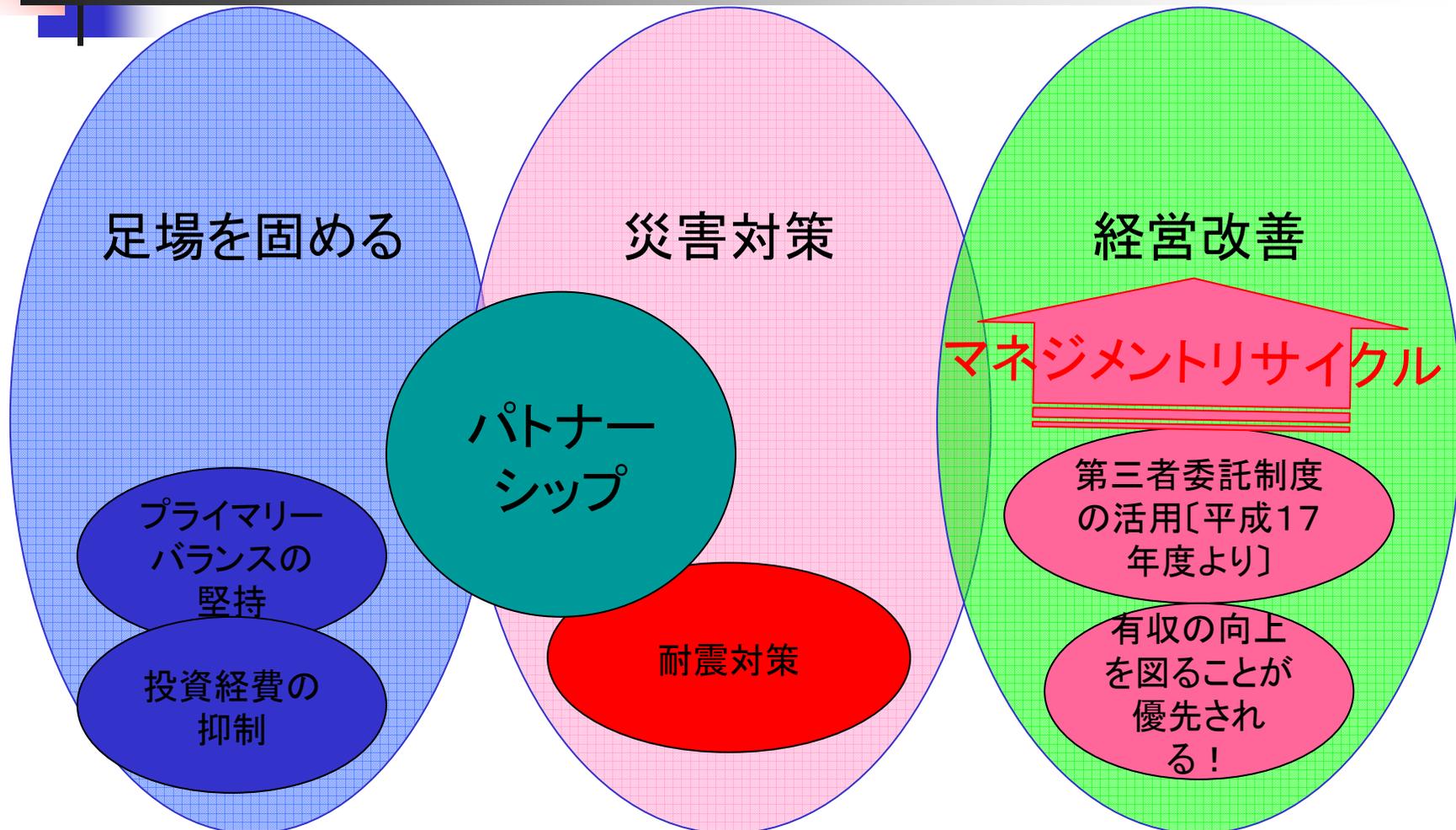
■ 基本方針

■ 基盤整備から管理強化に

水道経営としての評価制度とマネジメントリサイクル[Pian・Do・Check・Action]による効率的な経営を図る。(PI(指標)の活用)

- 業務委託による経営の効率化
 - 業務のフラット化
- 民間経営の手法を導入する

ビジョンの方向性





水道経営のイノベーションとは

- 経営する者の意識改革

「我慢」の Plan

「シンプルな経営」の Do

「地域と共に」の Check

「互いにできること」の Action

■ パートナーシップによって、経営のスタイルが形成される 足場はみんなで踏み固めるものであることは確かである。《コミュニティ活動の強み》

- 住民意識とのパートナーシップが築かれないと何も生まれない

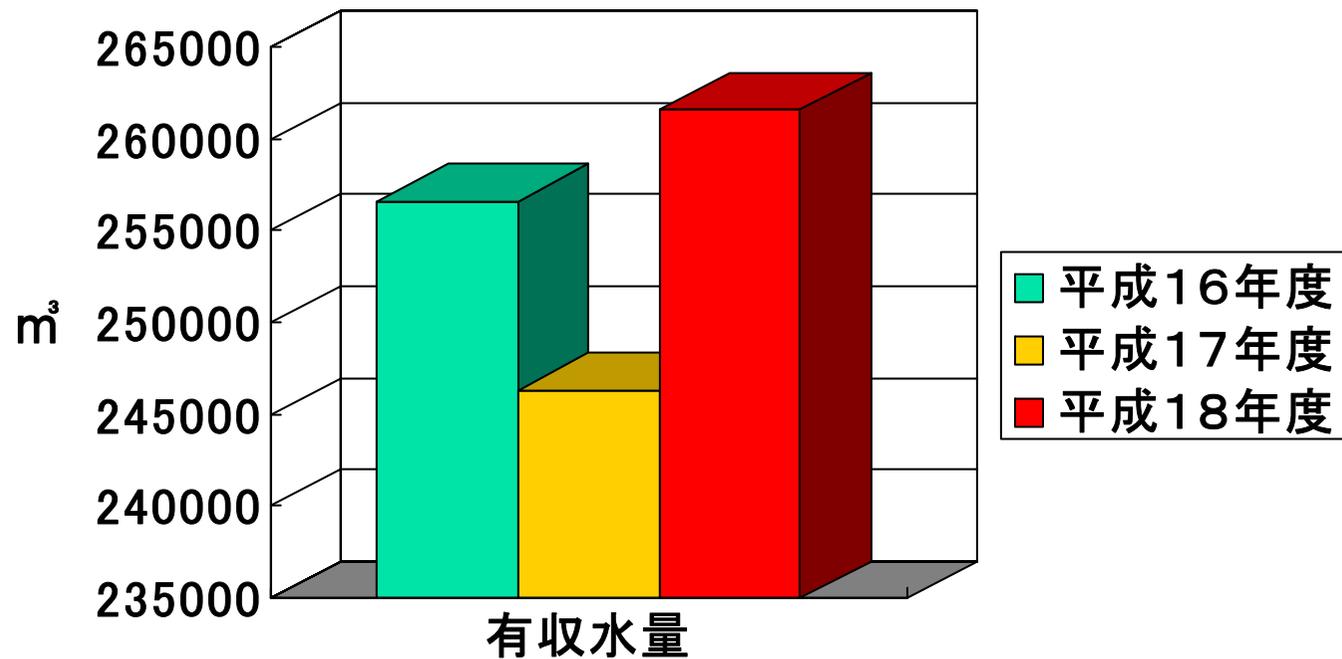
- 物事に取り組む姿勢(腰の強さ・低さ)・環境が人々のために理想の庭を作ること》



ビジョンと行財政改革プラン

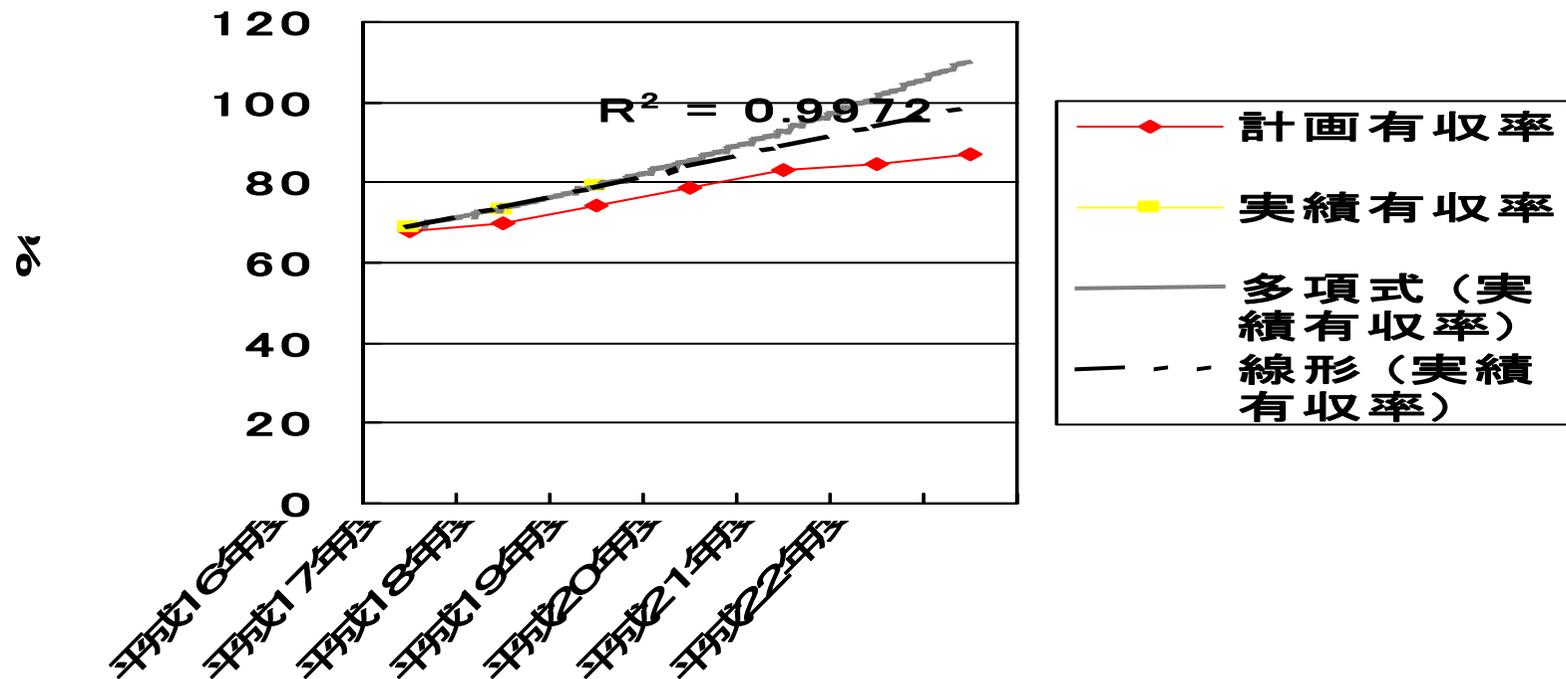
- 水道事業としての財政的な自律・自立
（財政的な不明瞭部分を見直し）
- 投資的負担の明確化と必要性を明示 
- 投資の必要性と妥当性と経費（指標活用）
- 将来を見据えた事業展開 
- 「これからも」から「これからは・・・」の視点
説明責任と管理責任 
《施設面と財政面の見通し・責任》

現状分析【水量】

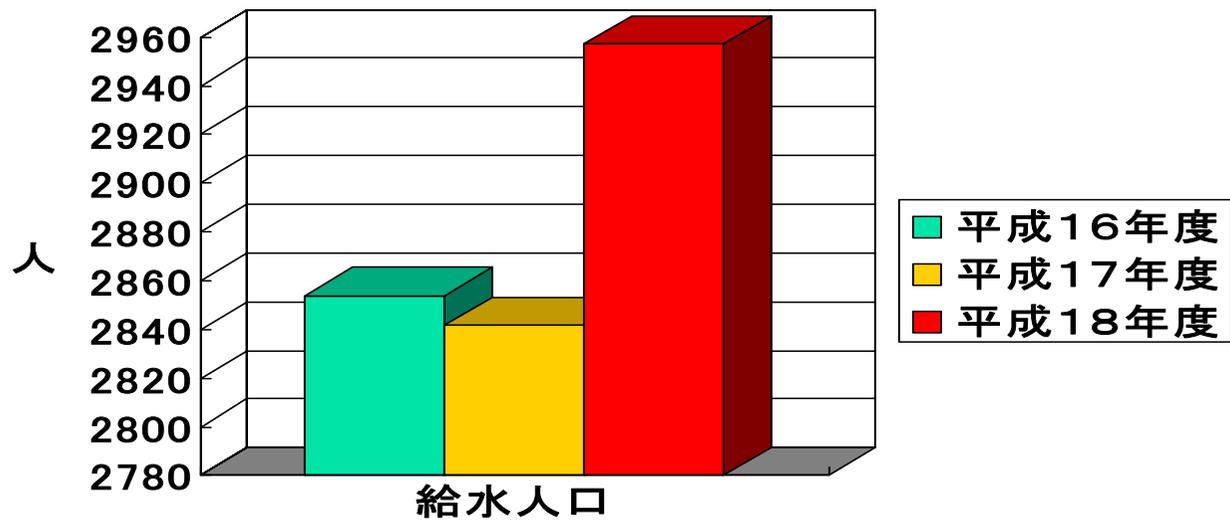


現状と今後分析【有収率の計画と実績】

計画有収率と実績有収率の推移

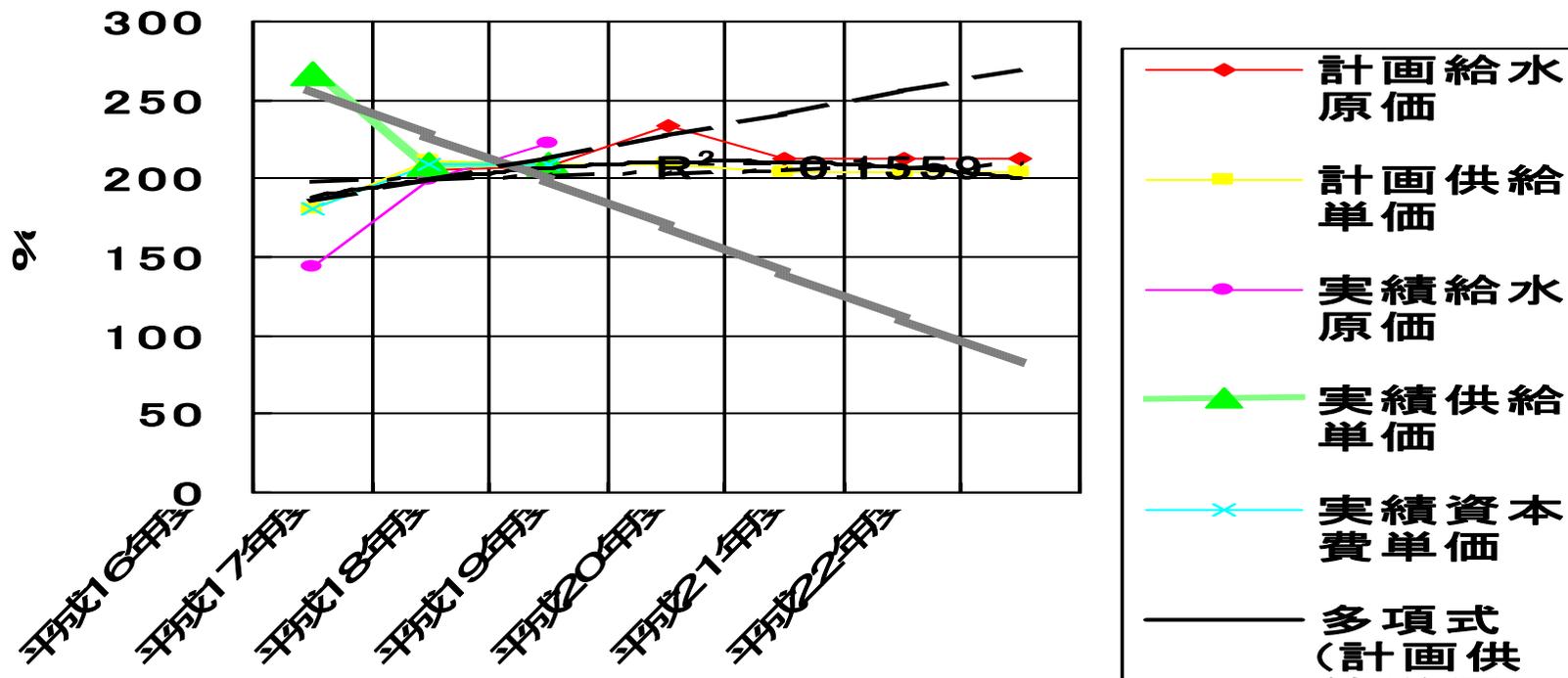


現状分析 【給水人口】

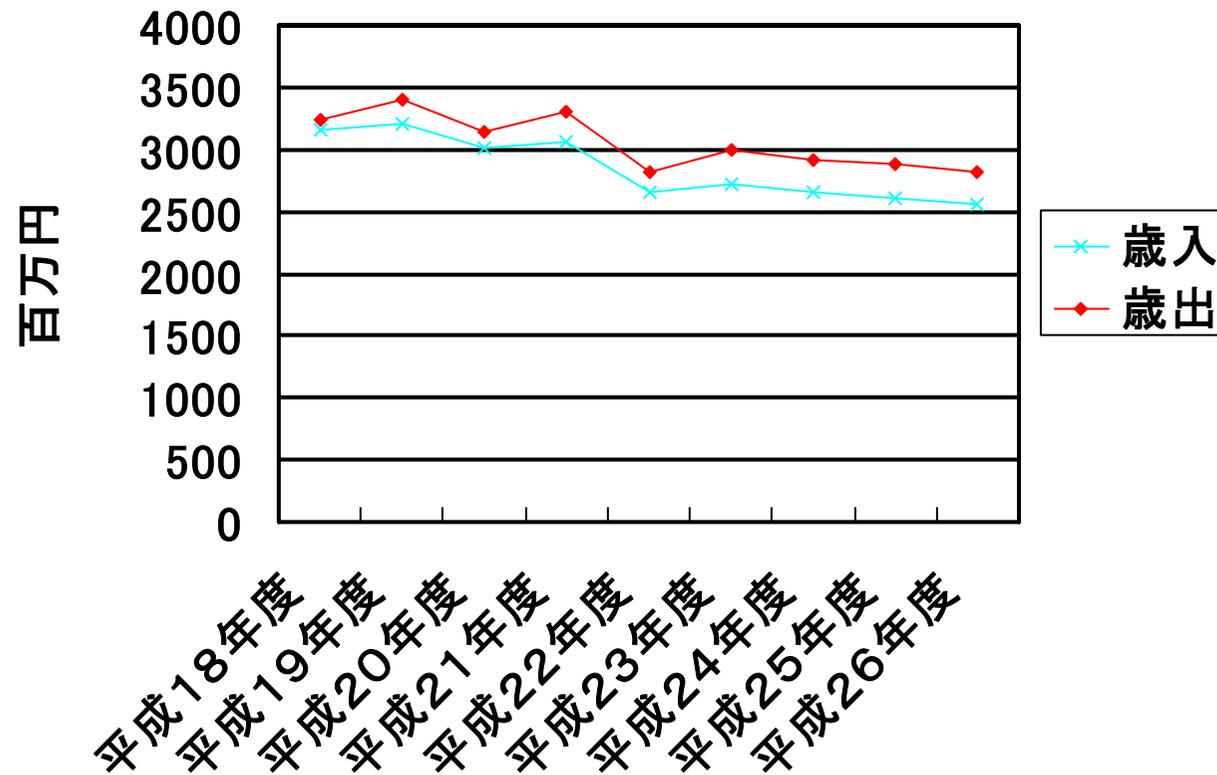


給水原価と供給単価の分析

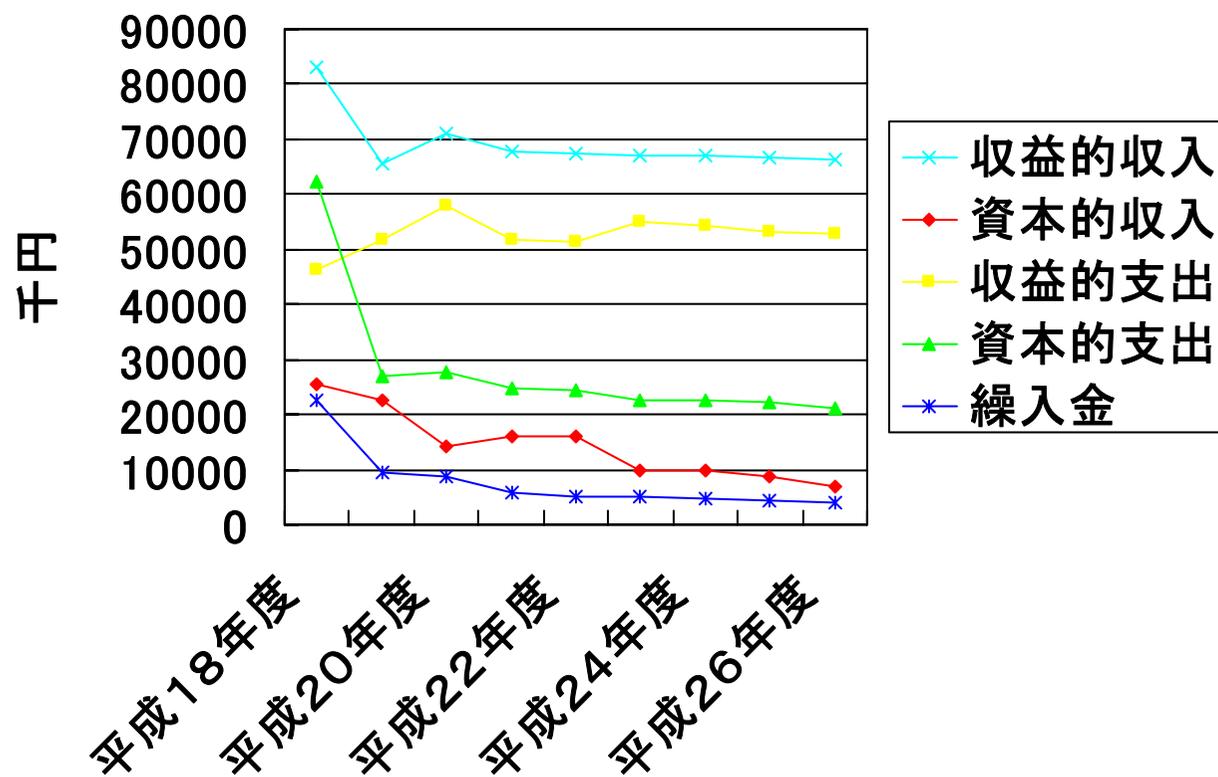
計画有収率と実績有収率の推移



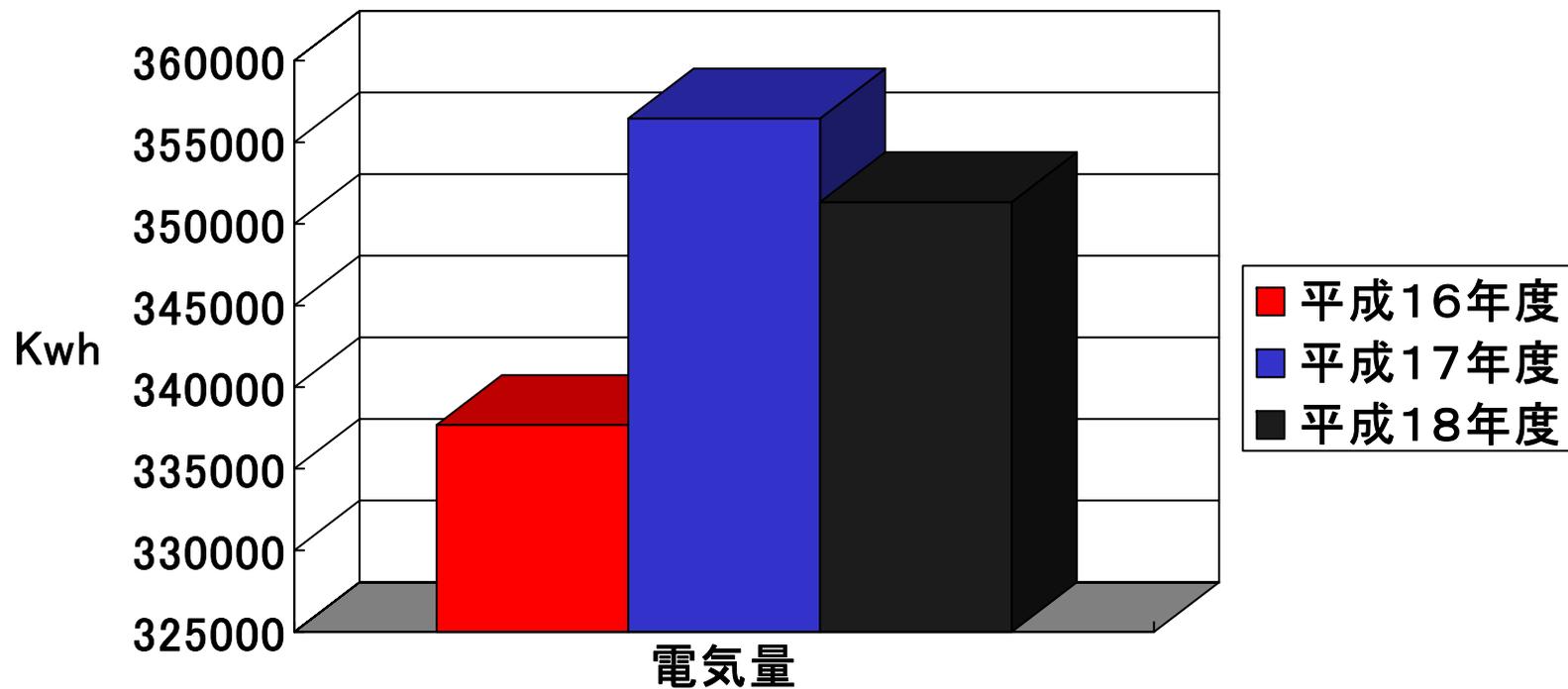
現状と将来の財源分析【村集中改革プラン】



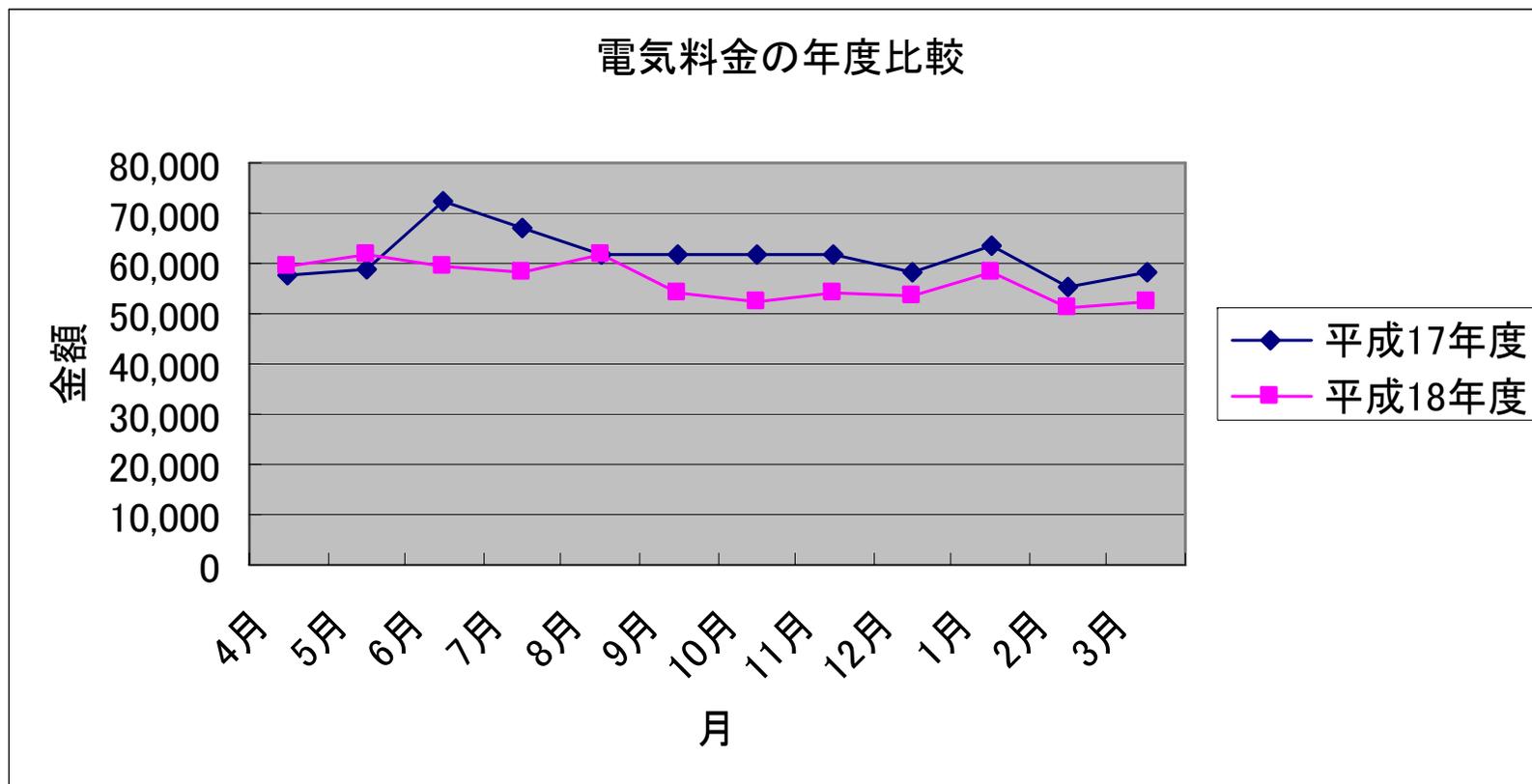
現状と将来分析 【特別会計の財源見通し】

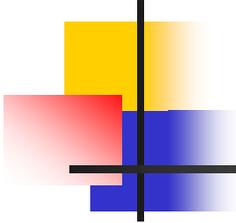


現状分析 電気消費について



現状分析 夜間電力の活用





地域ビジョンを支えるリソース I

- 漏水の少ない水道……地域情報を活用
シンプルな施設
管理面を考慮した施設



様々な情報
を得て、
管理に活
かす！

- 災害に強い施設より、災害に右往左往せず水利用する活動
《昔の人の知恵を拝借すること！！》
《災害頻度に即応した対策が取れる準備を行なう！》
※出来ないことがあることを認識し、住民主体となった自治の模索と対応

災害対策とビジョンについて



地域ビジョンを支えるリソースⅡ

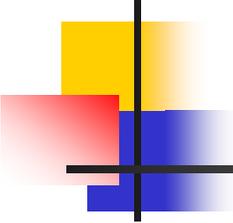
- 地域は、子供たちと女性の視点で考える！
- 昔の生活を学び、災害時にその知恵を活かす！

教育振興運動で
災害対策について
考える

(5R運動の推進
は、全てに通じる
リソースです。)

地元
学！





フォローアップの可能性

- 経営指標による効率性 《実のある経営》
- 民間経営のスピード感をplusすること
 - ※ちょっとした工夫・実行のスピードを活かす
- 地域コミュニティが基本にあれば、事業の維持は可能。次ぎの展開が構築できる



コミュニティ

地域コミュニティとビジョン！〔実例〕

- 「安心」は、主体的なコミュニティから
- 「安定」は協働から
- 「環境」は、参加と創造から

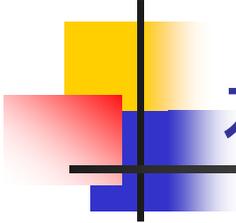
水道整備促進協議会

- 「持続」は、郷土の誇りから

ビジョン
の理解
と実践



水道普及の協働・コミュニティから始まり・まとまる



水源等の保全の取組み！

風景や水源の保全に向けた条例の制定！

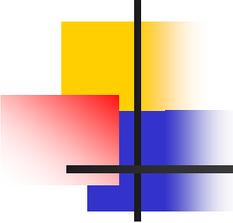
■美しい田野畑村を風景を守り育てる育てる条例 H4年制定

緑深き山脈、青空の下で草をはむ牛の群れ、いくつもの清流を集めて世界につづく紺碧の海 私たちの住む田野畑村は豊かな自然と美しい風景を持っている。自然の懐で深く思惟し、恵まれた自然と豊かな人間性の調和する。活力と個性的なふるさと地築いていく。

【目的】景観形成の責任の明確化にして、地域指定・行為指導等を行なう。

■田野畑村水源の森設置及び管理に関する条例 H11年

村民に供給する水源地の保全を計るとともに森林とのふれあいの中で森林の持つ公益的機能を理解を深め、自然愛護思想の高揚を図り、村民の福祉の増進に資する。



地域コミュニティから意見！フォローアップ反映！！

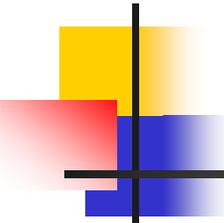
水理・水源 その緑資源～給水装置の安全性を考える！

■ 水源は枯渇しないか？（異常気象）

- 水源涵養保全林の指定の拡大は全指定は可能であるか！
- ウォーターアクトの精神は可能であるか！

■ 配水設備と給水装置の整備状況は？（耐震化と適正）

- 旧式で放置されていないか！



水道経営の課題と可能性

●小さくても、凜とした地域！

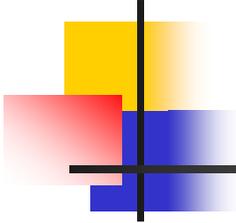
■可能性

水の透明感であれば、地域も輝くが溢れる！

- 水道は、地域のネットとなる。皆さんともに生活水を維持することの大切さ、自分のための環境保護とは何かを、考えることができる。
- 水道事業は、福祉であり、生活の基本にある！

■課題

- 経営リスク
 - ・水のネットワーク・サービス事業であること(寒さと地震・漏水対策(配水管更新に経費が嵩む)
 - ・忘れず、安心を届けるためビジョンに掲げた経営改善の継続性の維持
- 水道経営と政策形成の
(単価は、どこから何処から？ 施設は資本となっているか？ 経営に主体性があるか？)



岩手県のビジョン策定支援の活動

- 市町村のビジョン作成の支援方針
- 全市町村の取組み状況アンケート実施
- 市町村の実状に応じた勉強会の実施
- 情報交換と交流(継続)

■ 終わりに

津村節子 詩碑より

緑の中に
光の中に
潮風の中に架けられた
田野畑の橋
豊かな幸と
美しい笑顔と
やさしい心に出会える
田野畑の道
田野畑の橋は
未来を開く橋
田野畑の道は
夢に向かって歩く道